

<p>活動タイトル</p>	<p>外国人の子ども×発達障がい 支援のためのライフコースマップ</p>	<p>団体名</p>	<p>NPO法人多文化共生リソースセンター東海</p>			
<p>1年間の活動 (アウトプット)の 目標 (事業全体)</p>	<p>下記の事業の実施を通して、外国にルーツがあり発達障がいである子どもの療育・教育に携わる支援者が進学や就労していく時に必要な能力や、進学就労にチャレンジしていくための自己効力感を育むための関わり方、教育のあり方を考えるきっかけとなるライフコースマップを作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門家会議の実施 (年3回) 2. フィールドワーク、見学 (年2回) 3. ミニ学習会の実施 (年4回) 4. 成果報告会の実施 (年1回) 		<p>■ 活動風景</p>			
	<p>■ 活動報告</p> <p>● 学習会の実施</p> <p>【第1回】 2019年3月19日(火) 18:30~21:00 講師：後藤千絵氏 (一般社団法人サステナブル・サポート、ノックス岐阜) 会場：地域資源長屋なかむら (名古屋市中区) 参加者：4名 内容：発達障がいの方の就労支援についての考え方や、幼少期や中高生の頃にとどのような支援をしていくと良いのかについて講師にお話をいただき、参加者とともにディスカッションを実施。</p> <p>【第2回】 2019年5月19日(土) 10:00~12:00 講師：松永 結実氏 ('s lounge (エスラウンジ)) 会場：コミュニティカフェかかぼ (名古屋市中区) 参加者：10名 内容：仕事と暮らし、生涯を通して、人それぞれの凸凹に向き合いながら楽しく生きていくこと、そのための支援、視点について講師にお話をいただき、参加者とともにディスカッションを実施。</p> <p>【第3回】 2019年6月30日(日) 11:00~12:00 講師：後藤千絵氏 (一般社団法人サステナブル・サポート、ノックス岐阜) 会場：碧南福祉センターあいくる (碧南市) 参加者：15名 内容：就業先の見つけ方や、働くために必要な準備、気を付けたほうが良いこと、受けられるサポートなど、知っておくと安心な情報についてお話をいただき、質疑応答を実施。 ※外国人保護者を対象に実施。ポルトガル語の通訳あり。</p>	<p>■ 1年間の目標に対する達成状況</p> <p>● 専門家会議の実施 個別のヒアリングにとどまり、開催に至らなかった。</p> <p>● フィールドワーク、見学 ミニ学習会の開催により、ライフコースマップの作成における就労支援に関する理解が一定程度進んだため、フィールドワークの開催は見送った。</p> <p>● ミニ学習会の実施 計3回実施。支援者から当事者まで幅広い層の参加を得ることができた。</p> <p>● 成果報告会の実施 ライフコースマップの完成が助成期間終了後に持ち越しとなったため、成果報告会の実施には至らなかった。</p> <p>2020年3月までにライフコースマップ作成に係る専門家会議の開催、ライフコースマップの作成を行い、成果報告会を実施予定。</p>	<p>第2回学習会の風景 (5月)</p>  <p>5月19日に第2回学習会を開催。成人発達障がいのサポーターからお話を伺った。</p> <p>第3回学習会の風景 (6月)</p>  <p>6月30日に外国人保護者を対象に学習会を開催。就労についてお話を伺った。</p>			
<p>■ 1年間の活動のまとめ</p> <p>当初、期間内の完成を予定していた「外国にルーツがあり発達障がいである子どもの療育・教育に携わる支援者が進学や就労していく時に必要な能力や、進学就労にチャレンジしていくための自己効力感を育むための関わり方、教育のあり方を考えるきっかけとなるライフコースマップを作成する」という目標を達成することはできなかったが、計3回の学習会を通して支援者や当事者から直接声を聞くことができ、ライフコースマップに掲載する情報を絞り込むことができた。</p> <p>助成活動から得られた知見を活かして、2020年3月までにライフコースマップの完成につなげていきたい。</p>	<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p> <p>○学習会開催における日時の設定について、参加状況や問い合わせ内容を踏まえて改善することができた。</p> <p>○外国人保護者を対象に学習会を開催する場合の方法や当日の進行について、一連の流れを整理することができた。日頃、外国人保護者が行き慣れていない場所での開催や馴染みのない機関の開催ではなく、外国人自助グループが行っているイベント内で開催することで参加者が安心して参加できることがわかった。</p>	<p>■ 実施した人材育成策</p> <p>○組織体制の変更に伴い、事業を通じた人材育成にはつなげられなかった。今後は組織体制の変更が事業運営に影響を与えないよう、計画の進捗管理の在り方を見直すとともに、人材育成に取り組めるよう組織基盤の強化に努めていきたい。</p> <p>○第3回の通訳には、日頃子育て支援に従事している方に依頼し、本事業を通してこれまで知りえなかった就労支援に関する知識を深めていただいた点で人材育成につながった。</p>	<p>■ 活動成果のアピールポイント (自由記入)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1632 1217 1806 1340"> <p>この1年間の活動を通じて</p> </td> <td data-bbox="1806 1217 2230 1340"> <p>情報を必要とする外国人当事者に情報を届けること及びライフコースマップ作成に必要な情報を絞り込むこと</p> </td> <td data-bbox="2230 1217 2434 1340"> <p>を達成しました。</p> </td> </tr> </table> <p>■ 受益者の変化 (効果測定結果等)</p> <p>○学習会参加者 第1回・2回は、外国人支援に従事している参加者が多く、発達障がいに関する知識の深まりや視野の広がりが感じられたという感想が多く得られた。 第3回は外国人保護者が参加し、これまで知りえなかった就労支援に関する情報を知り、実際に支援機関に問い合わせるなど、具体的なアクションにつながった。</p>	<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>情報を必要とする外国人当事者に情報を届けること及びライフコースマップ作成に必要な情報を絞り込むこと</p>	<p>を達成しました。</p>
<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>情報を必要とする外国人当事者に情報を届けること及びライフコースマップ作成に必要な情報を絞り込むこと</p>	<p>を達成しました。</p>				